

IC-7700の遠隔操作 その2

JP3AZA 河田 至弘

IC7700 PCレス遠隔操作における クライアント側の設定と操作



(1)ソフトウェアのバージョン

JP3AZAのクライアント側で使用するicomの遠隔操作用のソフトウェアRS-BA1は必ずそのバージョンを1.6以上にアップデートされたものを使用して下さい。アップデートに必要なソフトウェアはicomのホームページからダウンロード出来ます。

(2)クライアント側の設定

先ずRS-BA1のRemote utmtyを走らせ、無線機運用」の「サーバー一覧」を開きます。ここで「追加」を押すと1図に示すように追加するサーバー登録が現れますのでここに必要事項を記入します。

サーバーの説明 :自分で判りやすいようどこのどんなサーバーかを記入します。

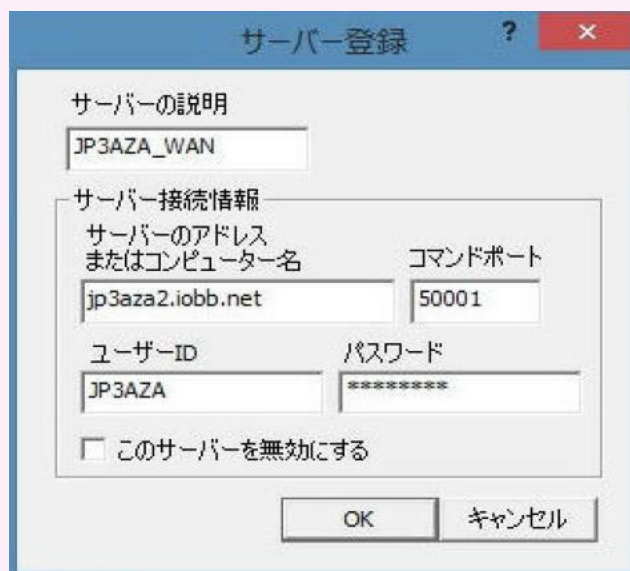
サーバーのアドレス :これは間違わないように以下のアドレスを記入します。 jp3aza2.iobb.net

< LAN回線のみの場合にはIC7700に設定したローカルIPアドレス 192.168.0.77を入力します。 >

コマンドポート : 50001 を入力します。

ユーザーID・パスワード:サーバーに入力した。ユーザーのID及びパスワードを入力。

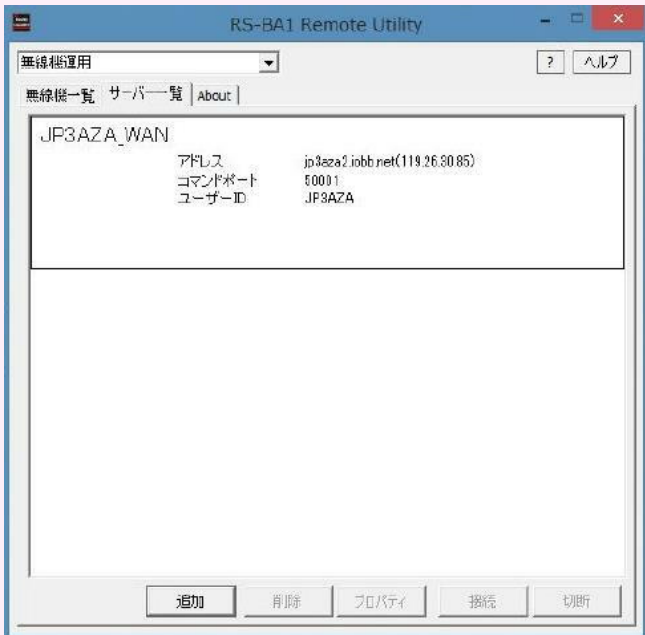
入力が終了すると「OK」で終了します。問題が無ければこれで運用が可能となります。



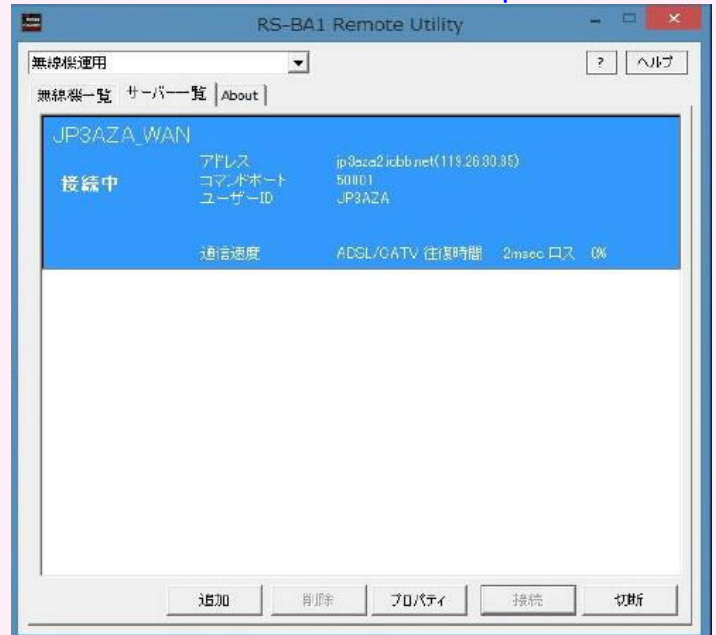
(1図)

(3)接続と運用

2図のように「サーバー一覧」には登録したサーバーの諸元が現れ、このサーバーの文字部分をクリックして色がブルーに変わった後、「接続」をクリックするとサーバーに接続され左側に「接続中」の文字が現れます。



(2図)



(3図)

ここで「無線機一覧」を見ると入力したサーバーにある無線機の諸元が現れます。やはり文字部分をクリックしてやると色がブルーに変わり「接続」を押すと無線機に接続されます。



(4図)



(5図)

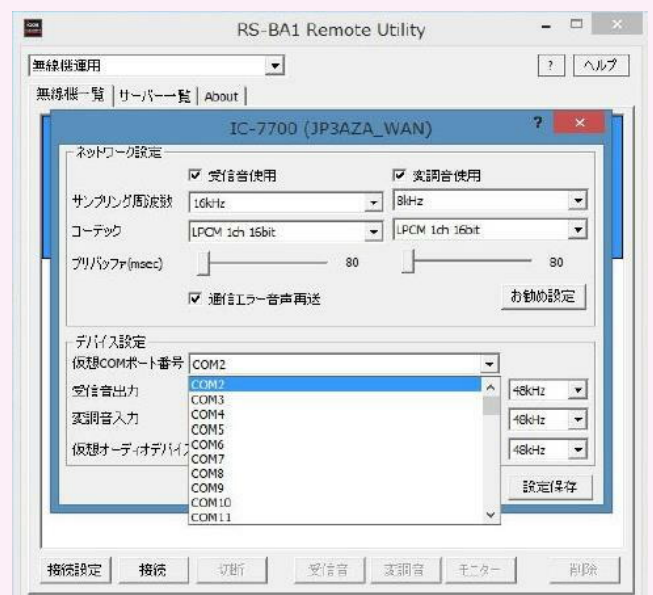
「接続」を押すと5図のように「仮想COMポートが未設定です」のエラーメッセージが現れますので「接続設定」を押して仮想COMポートを設定してやる必要があります。(最初の接続の時のみ)

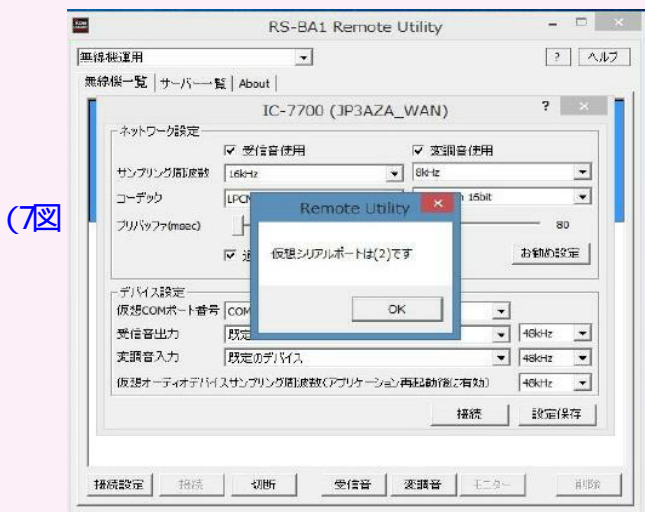
デバイス設定の中の「仮想COMポート番号」の右端にあるマークを押すと設定可能なCOMポート番号の候補が現れますので通常はPCに標準装備されているCOM 1以外の任意の番号を設定します。

この例ではCOM 2に設定します。

再度「接続」を押すと6図のように仮想COMポートはCOM 2に割り当てられ接続されます。接続がOKになると8図のように<<接続中>>文字が現れます。ただ、PCサーバー使用の接続とは異なりこの時点では制御部分の接続のみでまだ送信機の電源が入っていませんので音声は聞こえません。

(6図)





(7図)



(8図)

この時点でRS-BA1もう一つのRemote Controlを走らせます。立ち上がると9図のように無線機の実操作部分が現れますので画面上部にある升の右から2つ目の「接続設定」をクリックすると設定に必要な入力画面が現れますので、ここに必要な事項を入力します。これらの入力諸元はRemote utilityと矛盾しない値でなければエラーになります。

(9図)



ここに入力する諸元は以下のとおりです。

- 1.モデル IC - 7700(ver2.00 -)必ずver2.00で接続のこと。右端の をクリックすると現れる中から選択します。
 2. 無線機のLAN端子を使用する。 の中に必ずチェックを入れる。
 - 3.Remote utility IC - 7700 1.と同様に右端の をクリックして現れる中から選択します。
 - 4.CI - V COMポート 2, ボーレート(bps) 19200, CI - Vアドレス(無線機) 74, CI - Vアドレス(RS-BA1) EQ, これらはいずれもRemote utilityの示す値と同じでなければなりません。
 - 5.オーディオデバイス(ボイスメモリー) ICOM_VAUDIO-1, これもRemote utility の示す仮想オーディオと同じでなければならない。
 6. プログラム終了時に無線機の電源を切る の中に必ずチェックを入れます。
- 以上の入力が完了すると「再検索」をクリックして問題がなければ、右下の「OK」をクリックして入力を終了します。

次にRemote Control1 の上部左端の「接続 / 切断」をクリックします。

この時点で被制御無線機に電源が入り、緑色に点灯して電源投入後無線機が使用可能になるまでこの「接続 / 切断」のマークが約数回ウインクを繰り返します。そしてウインクが止まれば無線機は操作可能状態になっています。画面も無線機の現状設定を表示し、使用可能になります。

接続/切断

(10図)



これ以降はPCサーバーでの使用方法に準じますが、1個所異なる部分があり送信機の変調レベルの調整は「LAN」を選択する必要があります。

変調レベルの調整は「MIC SET」をクリックして出てきたメニューに「LAN」を選択する必要があります。

(11図)



(4) 切断と停止

運用を終了して接続を切って終了するには以下の手順で行います。

(12図)

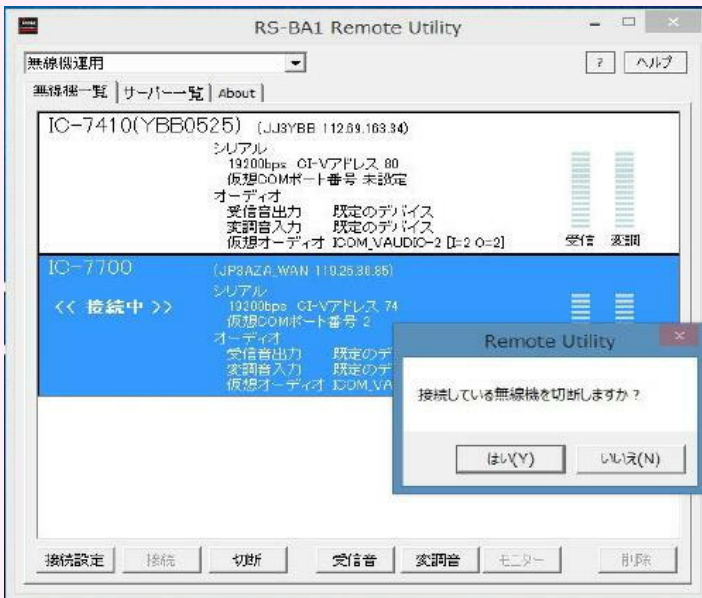
1.送信機の電源切断

Remote Controlパネルの「接続 / 切断」をクリックします。これにより送信機の電源が切断され、表示は緑色の点滅を2~3回くりかえし黄色に変わります。点滅終了時点で送信機の電源が完全に断になったことを示します。この時点で音声も断になります。



2.Remote Controlの終了

次にRemote Controlをパネル右端の「終了」をクリックして終了します。



(13図)



(14図)

3.無線機の切断

Remote utilityの「無線機一覧」で接続している無線機をクリックすると 13図のように接続している無線機を切断しますか? の問い合わせが現れますので「はい(Y)」をクリックして無線機との接続を切断します。

4.サーバーの切断

最後に「サーバー一覧」を開き接続しているサーバーをクリックして「切断」をクリックします。これで最終的にサーバーも切断され右上の「X」をクリックしてRS-BA1を終了します。

E51J クック諸島 ラロトンガ島 での運用 後篇

E51IVU 北井 十生

1月12日 昼過ぎ クック諸島 ラロトンガ島に到着した。あらかじめ連絡しておいたライセンスを取得するとすぐ 宿の「Kii Kii Motel」へ。アンテナを立て、リグをセットして、夕方になってやっとオンエアできるようになった。

1日目の夕食の準備もできた。とあえず14のCWと21のRTTYから運用を開始した。すぐにパイルアップになった。しばらく運用してさて、寝ようとするが台風なみの風と波の音でなかなか寝付けなかった。

2日目 朝から10と7のDPを干渉を避けるため90度に立てた。あと50の5エシの八木を海岸ちかくに2mほどの柱があったのでくくりつけたが風のために回転するため、JA方向へ固定した。1.8用のLWを海岸近くに、端を強風の方向へ張った。ラジアルは海水につけたがあまりよくなかったので地上に張った。また、オールバンドに対応させるためATUを付けてバンド毎にラジアルを張った。(関西地区では製作者にちなみ「宮スペシャル」と言われている)

これですべてのバンドにオンエアできるようになった。

この日は朝から島の中心部まで、真っ直ぐ行くとバスで10分くらいだが逆回りで観光半分気分で島内一周と称して買い出しに出かけた。島の東側に行くほどだんだん風も弱く、波も静かになってきた。きれいな砂浜とリゾートホテルがたくさんあった。バスは日本のどこかで走っていたようで「非常口」「優先座席」「冷房」と下りるときの「押しボタン」まであった。この島も日本と同じ左側通行なのでそのまま使えるためかな。

島内均一料金で1回 5NZ\$ で回数券もあった「10ライド」と言って買うと11回分乗れる。バス停は一応あるがどこでも停まり 乗れる。また、下りるときはドライバーに「Kii Kii Motel」と言っておけばホテルの前で停まってくれる。

さて、島の中心部にあるスーパーで2-3日分の食材を買った。肉、野菜、パン、米、調味料、ビールなど ところが周りは海なのに魚が無かった。帰りはホテルまでバスで10分ほど、「Kii Kii Motel」は自炊がメインのため キッチン、冷蔵庫、什器類は揃っている。

それに「鱈」の大群が甘いものがあるとすぐ寄ってくる。100均のビニール袋が役にたった。

フロは温水も出るシャワーのみでエアコンはなく 扇風機のみ 期間中のに他の宿泊客は欧米系(VK,ZL?)の人たちで、われわれが立てるアンテナを不思議そうに見ていた。これは何だと聞く人もいたが「Amateur Radio」と言ったらわかってくれた。

2,3日するとバンドが賑やかになってきた。

ついに「K5P」が出てきた。E5とKH6との間にあり どのバンドでも強い。こうなればK5Pのおこぼれをいただく「小判鮫」に方法を変えた。

K5Pが出ている周波数に「おジャマ」にならないように少し上で出るようにしたら K5Pのパイルに参加できないと思われる局から多数のお呼びを受けた。

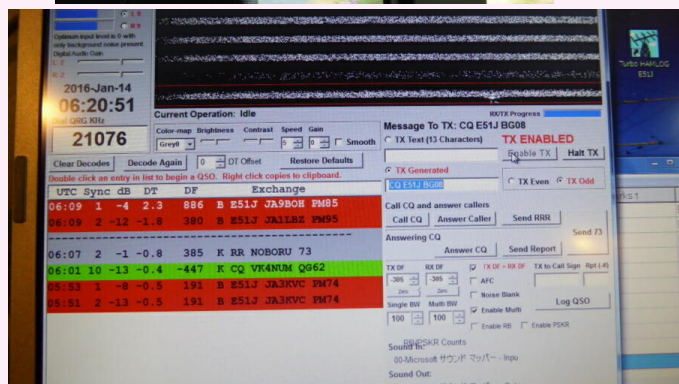
中にはとんでなくはなれた周波数で呼んでいる局に回答したが返事がない。どうもK5Pを呼んでいるようだった。



島内一周バス
(日本のどこかで走っていた)



21デルタループと10のDP



21.076 JT65画面(一番上の画面に横にかぶりノイズ入る)

ある日、近所に住んでいるE51JD Jimが訪ねてきた。これが又、難解な「スコットランドなまり」の英語で何回聞いてもわからない。(困った 困った)

この島には30年ほど前から住んでいる。島には7人ほどハムがいるぐらいがわかった。ローバンドでノイズが多いとも言っていたらしい。後日、徒歩で15分ほどのE51Jの家を訪れた。敷地内は14,21,28八木やLWなどのアンテナがあった。リグはFT450Dのみでニアは無かった。14のSSBによく出ている。持参したAA54で各バンドのVSWRを測定しデータを渡した。

ノイズ源はと聞かれたが近くには発生元と思われるソーラーシテムなどなかった。
音からだ人工ノイズではなく、自然ノイズのように思われた。
もう一人の現地ハムが訪れた、E51CG Vitorだ。もう一つコールはE51USAも持っている。
W出身のようでアメリカ英語でE51JDより少しは理解できた。50の様子を盛んに話をしていた。VK、ZL、JAとも出来るよと言っていた。彼とランチをすることになり、中心部まで車を2往復してくれた。

彼はJA3USAさんとJR3MVFさんを覚えていた。
後半になるとK5PIに続きVP8STIが出てきた。こうなればもう出るすき間がない。
すき間をぬいながらバンドを変え、モードを変えて運用を続けた。
この2局が出ていないモード PSKとJT65で運用したが特にJT65は1QSOに5分はかかる超スローなモードであるため他のバンドのカブリを受けても問題なくQSOできた。
この場所ではネットが繋がらず、電波時計もどこも入らず、JT65の基本である時刻補正ができず苦労した。
次からはGPS時計でも持っていかななくては・・・
また、来年も気力と体力がある限り続けるつもりです。Hi



E51JD Jm(右)



E51JD Jmのアンテナ

このDXバケーションにあたり、2015年12月に運用されたJA1XGI (E51XGI)内田さんから詳しい情報をいただきました。誌上にてお礼申し上げます。ありがとうございました。



シャック風景(奥がデジタル用)

今回のQSO数は下記のとおりです。

	CW	SSB	DG
(計)	2742	202	750

Band	CW	SSB	RTTY	PSK31	JT65	計
1.8	22	0	0	0	0	22
3.5	108	0	0	0	0	108
7	388	0	49	0	65	502
10	841	0	79	0	30	950
14	316	1	155	0	18	490
18	408	76	38	0	0	522
21	303	98	218	8	42	669
24	136	0	48	0	0	184
28	220	27	0	0	0	247
50	0	0	0	0	0	0
計	2742	202	587	8	155	3694



クック島ダンスショー(観光もしています)



E51CG Vitorとランチ (右奥)